

八月はお盆と施餓鬼の月です

お盆は「盂蘭盆会」といって「精霊会」「魂祭」とも呼ばれています

十三日は盆棚をつくり佛壇から位牌を移して先祖が眠るお墓に行き灯明にて精霊を迎え入れます
十六日送る日まん水と食事を供えておむてなしを
するといふ行事なのです

俳人 去来は

玉棚の奥なつかしや 親の顔
と詠めました

施餓鬼会

当寺は八月十日檀家の皆様が参列する中 住職と多くの僧侶が施餓鬼の法要を営みます

「餓鬼」とはサンスクリット語で「ブレータ」といって「死者の霊」をさします。それから佛教では欲望や執着心と「餓鬼」といって施餓鬼法要には「三界萬霊」の位牌を飾りご先祖さま（私の命を継いで下さった人達）と諸精霊を供養する行事なのです

俳人 加舎自雄は

つむぎえ火や 父のおもかけ母の顔と詠めました

住職の佛教史は十月から又続きます

以上

八月は、お盆と施餓鬼の月です

お盆は「盂蘭盆会」といい「精霊会」「魂祭」とも呼ばれています。

十三日は、盆棚をつくり佛壇から位牌を移して先祖が眠るお墓に行き、灯明にて精霊を迎え入れます。十六日送る日まで水と食事を供えておもてなしをするという行事なのです。

俳人、去来は

「玉棚の奥なつかしや親の顔」と詠みました。

施餓鬼会

当寺は、八月十日檀家の皆さまが参列する中、住職と多くの僧侶が施餓鬼の法要を営みます。「餓鬼」とは、サンスクリット語で「ブレータ」といい「死者の霊」をさします。これから佛教では欲望や執着心を「餓鬼」ともいい、施餓鬼法要には、「三界萬霊」の位牌を飾り、ご先祖様（私の命を継いで下さった人達）と諸精霊を供養する行事なのです。

俳人 加舎自雄は

「むかえ火や 父のおもかげ 母の顔」と詠みました。

住職 仁阿

住職の佛教史は十月から又続けます。